

## 廃棄物リサイクル部会審議状況 (「第4次静岡県循環型社会形成計画」の策定について)

(廃棄物リサイクル部会)

### 1 概要

廃棄物の削減対策や循環型社会の形成を取り巻く新たな課題等に対応するため、第4次静岡県循環型社会形成計画の策定を進めており、環境審議会廃棄物リサイクル部会において計画素案を審議した。

### 2 根拠

循環型社会形成推進基本法に基づく循環型社会を形成するための計画であるとともに、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく廃棄物処理計画である。

### 3 計画(素案)の特徴

(1) 3Rのうちリデュース(Reduce 発生抑制)による廃棄物削減と、リサイクル(Recycle 再生利用)による資源循環を推進

○『“捨てる”を減らそう。“活かす”を増やそう。～ふじのくにのゼロエミッション～』をキャッチフレーズに、県民総参加で取り組む。

(2) 資源循環と経済成長の両立を目指す『サーキュラーエコノミー』を柱に加える

○大量生産、大量消費の線形経済から循環経済への転換による循環型社会の構築

(3) 目標指標として、取組の効果をより実体的に示す「最終処分量」を設定

＜第4次計画数値目標＞ ※計画期間：令和4年度～8年度

区 分		R元年度	R8年度	設定の考え方
一般 廃棄物	1人1日当たり 排出量(g/人日)	885	848	第3次計画期間(H25～R元)の減少率を維持
	1人1日当たり 最終処分量(g/人日)	43	39	R元実績から1割減
産業 廃棄物	最終処分量(千t/年)	229	229	ここ数年の増加傾向から、直近の実績を維持

(4) 新たな課題や広域的課題に対応

○プラスチックごみや食品ロスなど世界的に重要な課題に対して、国と歩調を合わせ、県が多様な主体と連携し重点的に取り組む。

### 4 施策の展開

これまでの「3Rの推進」「廃棄物の適正処理」と、新たに「サーキュラーエコノミーに向けた基盤づくり」を加え、3つの基本方針のもと、施策を展開する。

### 5 今後のスケジュール

○R3年12月 県議会常任委員会報告(中間案)、県民意見の募集(～1月)

○R4年2月～3月 県議会常任委員会報告(最終案)、環境審議会(答申)

## 第4次静岡県循環型社会形成計画の策定 (中間報告)

### 静岡県環境審議会廃棄物リサイクル部会

1

### 廃棄物リサイクル部会 委員

氏名	所属・役職
岩堀 恵祐 ※	宮城大学名誉教授、静岡県立大学客員教授、 独立行政法人環境再生保全機構プログラムオフィサー
小杉 充伸	静岡県環境保全協会 副会長
五明 玲子 ※	ウィル&ウィール17Lab 代表
千賀 康弘	東海大学名誉教授
曾根 博倫 ※	株式会社静鉄ストア 取締役総務部長
高田 勝 ※	富士市 環境部長
平井 一之 ※	一般社団法人静岡県環境資源協会 専務理事
藤井 節子	静岡県消費者団体連盟 理事
◎牧野 正和	静岡県立大学食品栄養科学部 教授
松浦 敏明 ※	公益社団法人静岡県産業廃棄物協会 専務理事
山田 和芳 ※	早稲田大学 人間科学学術院 教授

(敬称略、五十音順) ◎部会長 ※特別委員

2

## 廃棄物リサイクル部会審議経過

- **第1回** 7月9日開催 出席委員:10人
  - 現計画進捗状況
  - 新計画の基本的な策定方向
- **第2回** 9月22日開催 出席委員:9人
  - 新計画の施策体系
  - 新計画素案
- **第3回** 12月2日開催予定
  - 新計画中間案

3

## 新計画の特徴

### 特徴1 リデュースを最優先に、3Rを推進

- 『“捨てる”を減らそう。“活かす”を増やそう。～ふじのくにのゼロエミッション～』をキャッチフレーズに、県民総参加で取り組む

### 特徴2 『サーキュラーエコノミー』への移行を推進

- 大量生産、大量消費・廃棄の線形経済から、資源循環と経済成長が両立する循環経済(サーキュラーエコノミー)への転換を目指す

### 特徴3 取組効果が分かりやすい指標に見直し

- 「最終処分率」から、廃棄物削減を量的に表す「最終処分量」に
- 全国と比べて高いレベルの維持を目指す

### 特徴4 新たな課題に対応

- プラスチックごみや食品ロスなど世界的に重要な課題に対して、国と歩調を合わせ、県が多様な主体と連携し重点的に取り組む

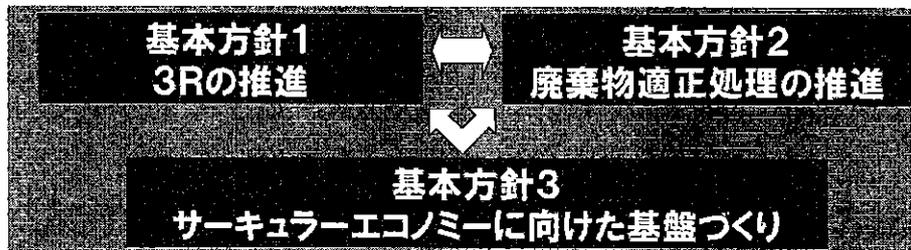
4

# 計画概要

◎計画期間 令和4年度～8年度(5年間)

◎キャッチフレーズ “捨てる”を減らそう。“活かす”を増やそう。  
～ふじのくにのゼロエミッション～

◎基本方針



◎計画目標

区分	指標	元年度	8年度
一廃	1人1日当たり排出量(g/人日)	885	848
	1人1日当たり最終処分量(g/人日)	43	39
産廃	最終処分量(千t/年)	229	229

5

## 基本方針ごとの施策展開

### 基本方針1 3Rの推進

- 廃棄物の発生抑制・再使用の推進
- プラスチックごみ対策の推進

### 基本方針2 廃棄物適正処理の推進

- 事業者指導の強化と優良事業者の育成
- 不法投棄対策の推進
- 災害廃棄物の適正処理の推進
- 廃棄物処理体制の充実

### 基本方針3 サーキュラーエコノミーに向けた基盤づくり

- 新たなプラスチック戦略の推進
- 食品ロス対策の推進
- 循環産業の振興支援
- 住民等への啓発、関係機関との連携強化

6

# 今後検討する視点

## 計画の方向性

- サーキュラーエコノミーへの移行、カーボンニュートラルの実現など、これからの環境・社会・経済などの課題解決に向けた取組を示す
- 世界的な環境問題に対し、できることから、足元から取り組む
- 多様な主体との連携強化

## 指標、目標値

- リデュースに着目し、排出量削減を量的に示す指標の設定
- 取組の効果が分かりやすい指標の設定

## 表現等

- 図表の整理、単位の統一
- 3R、6R県民運動など、県民や事業者に分かりやすい内容表現になっているか

7

# 今後のスケジュール(予定)

年月	事項	内容等
令和3年 12月	静岡県議会常任委員会 報告	新計画中間案
12月～1月	パブリックコメント	県民意見聴取
令和3年 2月～3月	第4回 廃棄物リサイクル部会	新計画最終案
2月～3月	第4回環境審議会	部会報告、最終審議、 答申
3月	計画公表	

8